

令和3年度 事業報告

今年度は、「志免町福祉総合計画」と協働策定した『第6次地域福祉活動計画』（令和3年度～令和8年度）の初年度となりました。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、地域での福祉活動や当会でも予定していた事業が中止となる厳しい状況が続く1年となっております。

生活福祉資金貸付事業における新型コロナウイルス感染症の影響により減収がある方や失業した方に対する「特例貸付」も引き続き実施していましたが、受付期間の相次ぐ延長もあり、昨年度に続き相談件数は通常の貸付の10倍以上になっています。

そうした状況の中でも感染状況を見極めながら、Zoom（ズーム）などのオンラインを取り入れた事業や会議を開催するなど、事業実施に向けた取り組みを模索してまいりました。

地域の福祉活動についてもサロンなどが中止する中で、「つながり通信」などを活用した見守り活動の提案を継続して行うことで、多くの町内会でご活用していただきました。

介護保険事業につきましてもICT（情報通信技術）にも取り組んでおり、業務の効率化を目指しています。

こうしたコロナ禍においても出来る活動を検討し、実施してきたことは、来年度以降における事業継続に繋がっていくと考えております。

今後も当会は地域福祉活動に尽力する所存ですので、住民の皆様や各関係機関のご支援とご協力の程、何卒よろしく願いいたします。

令和3年度の事業実施の状況について、次のとおり報告いたします。

令和3年度 志免町社会福祉協議会 地域福祉事業報告

1. 地域福祉活動や各種事業の充実促進

(1) ふれあいのまちづくり事業の推進

①小地域福祉活動への支援

・福祉推進委員活動の推進

町内会で、おひとり暮らし高齢者や障がい者などの援護が必要な方への見守り安否確認活動を組織的に展開していただきました。

	令和3年度	令和2年度
見守りネットワーク組織化	30 町内会	30 町内会

・町内会長・福祉推進委員合同研修会

地域福祉活動を中心に担っている町内会長と福祉推進委員の方々に他の先進地区の活動を知っていただく機会として例年実施をしていました。

昨年度は新型コロナウイルス感染症のため、開催を中止しましたが、今年度はシームイトに講師を招いて開催しました。

開催日：1月18日（火）

講演：「大刀洗町における小地域福祉活動の取り組み」

講師：大刀洗町社会福祉協議会 地域福祉係長 池松 昌亀 氏

実践報告：「鳥飼区、西大刀洗区の小地域福祉活動実践報告」

講師：大刀洗町社会福祉協議会 地域福祉係長 池松 昌亀 氏

大刀洗町西大刀洗区 民生児童委員 近藤 和廣 氏

	令和3年度	令和2年度
参加者内訳	町内会長 18 人、福祉推進委員 25 人、 代理参加等 3 人	—
合計	46 人	—

・福祉協力員への支援

各町内会の福祉協力員の方々が、安心して福祉活動が出来るように保険に加入しました。

	令和3年度	令和2年度
福祉協力員	628 人	631 人

・見守りネットワーク活動推進の支援

各町内会の活動状況を確認すると共に、カレンダー配布や「つながり通信」等を通じて、見守り対象者等のお宅を訪問していただきました。

ハガキやメッセージカードを活用した見守りも引き続き提案しました。

・居場所づくり支援

居場所活動の周知啓発を目的とした「志免町の居場所事例集」の令和3年度版を作成しました。

・地域福祉活動費助成

7月に各町内会へ賛助会還元金として「地域福祉活動費」を交付しました。

・Zoom（ズーム）講座

「ふれあい・いきいきサロン」などの居場所活動が新型コロナウイルス感染症の影響で開催出来ない状況で、地域の活動者およびサロン参加者にZoomなどの使い方を学べる講座を開催しました。

開催日：①7月2日（金）シーメイト：御手洗福祉推進員等2名

②11月22日（月）・24日（水）桜丘南公民館：桜丘南町内会役員11名

講師：ルミナPCカレッジ インストラクター 佐伯 隆也 氏、他1名

・地域の担い手講座

町内会を単位とした支え合い活動の活性化を図るため、町内会からの要望に応じて既存活動や新たな活動を行うための人材養成の講座を開催する予定としていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で申し込みがありませんでした。

②住民参加による地域福祉事業

1) 地域福祉活動推進のための啓発普及

・四者合同研修会

地域の中核的役割を担っている町内会長、民生児童委員、福祉推進委員、社会福祉協議会理事・監事・評議員の四者の方々に地域福祉活動の必要性を理解して頂くために研修会を開催しました。

開催日：7月21日（水）

講演：「地域への思いを途切れさせないために」

講師：うきは市社会福祉協議会 地域福祉活動専門員 中川 史高 氏

	令和3年度	令和2年度
参加者内訳	町内会長 11人、民生児童委員 17人 福祉推進委員 21人 理事・監事・評議員・顧問 34人	—
合計	83人	—

・四者合同会議

赤い羽根共同募金にご協力を頂いている町内会長、民生児童委員、福祉推進委員、社会福祉協議会理事・監事・評議員の四者の方々に「赤い羽根共同募金運動」について説明を行い、町内会毎に街頭・法人募金の実施日程を協議いただいています。今年度は新任者の方を対象に9月2日（木）に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う「緊急事態宣言」のため、開催を中止しました。

なお、参加対象の皆様には後日、研修資料を郵送しています。

	令和3年度	令和2年度
参加者内訳	※資料送付対象者 町内会長7人、民生児童委員12人 福祉推進委員15人 理事・監事・評議員16人	—
合計	50人	—

・町内会や関係団体等への出前ふくし講座

地域福祉活動やボランティア活動への理解と関心を深めていただくことを目的に、町内会などに出向き、福祉体験や講話を行っています。

新型コロナウイルス感染症のため、今年度も開催の中止などが相次ぎました。

	令和3年度	令和2年度
回数	9回	4回
参加者数	225人	84人

・認知症サポーターキャラバン活動

「認知症サポーター養成講座」

地域包括支援センターや町内のキャラバン・メイトと協力して開催しています。

平成22年度から「認知症サポーター養成講座」を開催し、令和2年度迄で受講者数は延べ2,752人となっています。

新型コロナウイルス感染症のため、今年度も開催が出来ない状況が続いています。

	令和3年度	令和2年度
参加者	—	—

「志免町キャラバン・メイト連絡会」

新型コロナウイルス感染症のため、中止しました。

・第18回障がい者福祉啓発事業「やさしさのつどい」

例年、志免町障がい児・者団体連絡協議会「こころのまど」、ボランティア連絡協議会と共同で「障がい」に関する啓発事業を実施しています。

今年度は、開催規模を縮小して実施しました。

開催日：11月23日（火・祝）10：00～15：00

内 容：朗読とピアノで奏でるやさしさのステージ、画廊・kokoro-

ハートフルコーナーin しめ、志免東中学校特別支援学級作品展示

※参加者数は推計

	令和3年度	令和2年度
参加者	250人	—

2) 在宅高齢者・障がい者等に対する福祉サービス

・在宅介護者のつどい

「介護講座」1月25日（火）【オンライン開催】

講演：「知ってほしいヤングケアラー」

講師：福岡子どもとパートナーの会 代表 金子 勇人 氏

「リフレッシュバスハイク」

3月18日（金）JA糸島産直市場伊都菜彩、鮪和食空・Ku等（糸島市）

令和3年度		令和2年度
介護講座	11人	—
リフレッシュバスハイク	8人	
計	19人	—

・福祉用具の貸出（車いす）

町内在住の方に向けて、車いすの貸出を行っています。

	令和3年度	令和2年度
貸出件数	71件	58件

3) 児童・青少年の健全育成

・中学生ボランティアスクール

志免町内の中学生を対象に、学習・体験を通して福祉について関心を高め、地域に住む人々の多様性を知り、ともに生きる地域の一員として、自分にできることを実践していこうとする姿勢を身につけることを目的に実施しています。

今年度は8月5日（木）開催として13名の参加を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う「緊急事態宣言」のため、開催を中止しました。

	令和 3 年度	令和 2 年度
参加者数	—	—

・小中学校福祉教育連絡会

小中学校福祉教育担当者連絡会を年 2 回開催し、社会福祉協議会からのお知らせや各校の福祉への取り組みに関する情報交換などを行っています。

今年度は新型コロナウイルス感染症のため、Zoom（ズーム）によるオンライン開催としました。

開催日：6 月 11 日（金）・3 月 11 日（金）計 2 回

・小中学校への福祉教育費助成

学校における福祉教育にかかる費用について助成を行いました。

今年度は、1 か所より助成金の申請がありました。

	令和 3 年度	令和 2 年度
助成校	志免南小学校	—
計	1 か所	0 か所

・小中学校福祉教育授業、チャレンジひろば等における「出前ふくし講座」およびボランティア調整

「総合的な学習」等への企画提案や講師派遣の調整を行っています。

今年度は「出前ふくし講座」の実績は無く、ボランティア依頼で 1 件調整を行いました。

【ボランティア調整】

開催場所	回数	内 容
志免中央小学校	1 回	ボランティア調整 手話の会
計	1 回	

・福祉用具の貸出（車いす、点字板、点字ブロック、白杖、アイマスク）

開催場所	回数	内 容
志免西小学校	1 回	白杖、点字板
志免中央小学校	1 回	車いす、白杖、点字板、点字ブロック
計	2 回	

・福祉教育教材「ともに生きる」の配布

福岡県社会福祉協議会で作成する福祉教育教材「ともに生きる」を希望する町内の小中学校に配布しました。総合学習の時間などに活用されています。

	令和3年度	令和2年度
福祉教育教材「ともに生きる」	415冊	286冊
福祉教育読本「ともに生きる」	40冊	0冊
計	455冊	286冊

・不登校・引きこもり世帯の支援（不登校・引きこもり家族交流会）

当事者同士の交流やニーズ把握を目的に定期的に家族交流会を開催しています。

今年度は、6月に研修会、個別相談会、交流会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、9月に延期しました。

こちらも感染拡大のため、開催を中止しています。

4) 高齢者、障がい者、児童・青少年等の社会参加

・「ふれあい・いきいきサロン」助成

公民館など気軽につどえる場所で、主に高齢者とボランティアや町内会役員などが共に企画・運営するサロン活動を行う町内会に助成を行っています。

今年度もコロナ禍の影響で、開催を中止した町内会や予定した回数が出来ない町内会がありました。

	令和3年度	令和2年度
東校区	田富、成和、向ヶ丘、松ヶ丘 東区〔5町内会〕	田富、成和、向ヶ丘、志免三 松ヶ丘、東区〔6町内会〕
南校区	桜丘一、桜丘中央、桜丘南 石橋台〔4町内会〕	水鉛、桜丘一、桜丘中央 桜丘南、石橋台〔5町内会〕
中央校区	志免二、志免四、志免六 南里一、南里三、王子八幡 〔6町内会〕	志免二、志免四、志免五 志免六、坂瀬、南里一 南里三、王子八幡〔8町内会〕
西校区	別府、別府一、別府三、御手洗 サンリヤン〔5町内会〕	南里二、別府、別府一、別府二 別府三、鏡、御手洗 サンリヤン〔8町内会〕
計	20町内会	27町内会

・「子育てサロン」助成

公民館など気軽につどえる場所で、子どもとその親、ボランティアや町内会役員などが共に企画・運営するサロン活動を行う町内会に助成を行っています。

今年度もコロナ禍のため、多くの町内会で活動が中止となりました。

	令和3年度	令和2年度
町内会	志免四、南里二	水鉛、志免四、南里二 サンリヤン、モントーレ
計	2町内会	5町内会

・「新たな居場所活動」助成

町内会で開催される「新たな居場所活動」への助成を行います。

今年度もコロナ禍の影響で、開催回数が制限されています。

	令和3年度	令和2年度
町内会	田富、松ヶ丘、向ヶ丘 桜丘一、桜丘中央、 桜丘南、石橋台、志免四 王子八幡、サンリヤン	田富、松ヶ丘、向ヶ丘 桜丘一、桜丘中央、桜丘南 石橋台、志免四、志免五 南里一、王子八幡、南里二 サンリヤン
計	10町内会	13町内会

・地域型「楽しく食べて語ろう会」助成

町内会で開催される「楽しく食べて語ろう会」への70歳以上ひとり暮らしの方の参加に対する助成を行っています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の工夫をしながら、昨年度より多くの町内会で開催されました。

	令和3年度	令和2年度
東校区	田富 24人、成和 16人 東区 8人	—
南校区	吉原 3人、水鉛 6人 桜丘中央 17人、石橋台 4人	—
中央校区	志免二 5人、志免四 9人 志免六 20人、坂瀬 79人、 南里一 3人、王子八幡 45人	志免四 12人
西校区	別府二 25人、別府三 3人 鏡 23人	—
計	16町内会 290人	1町内会 12人

・「ふくしの世代間交流」助成

高齢者や子どもなど、世代を超えて交流を図る行事を行う町内会に助成を行っています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の工夫をしながら、幾つかの町内会で開催されています。

	令和3年度	令和2年度
東校区	—	—
南校区	水鉛、桜丘一、石橋台 〔3町内会〕	石橋台〔1町内会〕
中央校区	志免二、志免四、南里三 〔3町内会〕	—
西校区	—	—
計	6町内会	1町内会

・志免町障がい児・者団体連絡協議会「こころのまど」活動への支援

「こころのまど」は、町内で活動する障がいのある当事者団体および家族会の計4団体で構成されています。団体間の連携を図りながら、障がい者福祉の啓発活動を行っており、その活動支援を行いました。

今年度は、定例会を中止する月などがありました。

主な活動：バスハイク、定例会など

・障がい児・者団体、在宅介護者団体等活動への支援

「志免町障がい児・者団体連絡協議会『こころのまど』所属団体への支援」

○発達がゆっくりとした子どもたちの自立を考える親の会「すてっぷくらぶ」

○障がいのある子もない子も共に演劇を！「劇団きらきら」

○ゆっくりっ子と家族が楽しむ「おはなし会げんき！」

○「ツモローの会」

「在宅介護者の会『すみれの会』への支援」

介護者の会「すみれの会」の定例会に参加するなど、活動に関する支援を行いました。

主な活動：定例会、バスハイク、新年会など

・レクリエーション道具、遊具、チャイルドシートの貸出

○レクリエーション道具、遊具の貸出

	令和3年度	令和2年度
件数	26件	17件

○チャイルドシートの貸出

	令和3年度	令和2年度
件数	20件	19件

5) ボランティア活動の促進

・各種ボランティア講座

「福祉ボランティア入門講座」

志免町ボランティア連絡協議会と共催で開催しています。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症のため、開催を中止しましたが、今年度は開催することが出来ました。

開催日：3月9日（水）12：30～16：40

場 所：障害福祉サービス事業所 PICFA（ピクファ）【佐賀県三養基郡基山町】

内 容：施設長 原田啓之 氏による講話、施設見学

	令和3年度	令和2年度
受講者	4人	—
ボランティア 連絡協議会会員	12人	—
計	16人	—

「傾聴ボランティア養成講座」

自宅で話を聞いてくれるボランティアの要望があり、傾聴を行うボランティアを養成する講座を開催しました。当初は、会場とオンラインの両方で開催予定としていましたが、緊急事態宣言に伴いオンライン（Zoom）のみでの開催となりました。

開催日：8月17日（火）、25日（水）、9月1日（水）、8日（水）

講 師：FFAフォローシップ協会 理事長 福島健司 氏、他4名
傾聴ボランティア「笑みの会」 会長 豊福 泰子 氏

参加者：15名

・志免町ボランティア連絡協議会活動への支援

福祉関係ボランティアの計9団体で結成された志免町ボランティア連絡協議会への活動支援を行いました。

・志免町ボランティア連絡協議会所属団体活動への支援

志免町ボランティア連絡協議会所属団体への活動支援を行っていますが、今年度も新型コロナウイルス感染症のため、団体活動が例年通りに出来ない状況がありました。なお、今年度を以て「コスモスの会」、「レインボーグループ」は解散となっています。

- 志免町手話の会「指友会」
 - 志免テープの会「あじさい会」
 - 志免点訳サークル「ほたるの会」
 - 介護ボランティア「コスモスの会」
 - 障がい児（者）を支える会「志免町 野の花会」
 - 障がい者デイサービス支援ボランティア「レインボーグループ」
 - 視覚障がい者サークル「志免瞳の会」
 - 志免町赤十字介護奉仕団「ふきのとう」
 - 大道芸ボランティア「てまり一座」
- 合計 9 団体

・町内のボランティア団体への支援

ボランティア活動保険の加入受付などを行いました。

・ボランティア関係機関との連携

まちづくり支援室と連携し、年 3 回の情報交換を行っています。

開催日：6 月 15 日（火）、10 月 22 日（金）、2 月 25 日（金）

・ボランティア育成・福祉団体等への助成

ボランティアおよび福祉団体等への助成について、配分申請内容について配分審査会を設けることで、適正な助成に努めました。

令和 3 年度も新型コロナウイルス感染症の影響があり、活動が出来ないとの理由から申請数が減少しています。

	令和 3 年度		令和 2 年度	
	申請件数	決定件数	申請件数	決定件数
助成対象事業				
団体活動運営費	7 件	7 件	8 件	8 件
団体研修事業費	2 件	2 件	4 件	4 件
イベント事業費	1 件	1 件	4 件	4 件
備品購入費	0 件	0 件	1 件	1 件
地域連携活動支援事業	2 件	2 件	2 件	2 件
計	12 件	12 件	19 件	19 件

③福祉施設協働事業

・ふくおかライフレスキュー事業への参画

糟屋郡内の社会福祉法人が連携し、生活困窮者支援活動を行う「ふくおかライフレスキュー事業」に参加し、相談対応や会議（Zoom を含む）等へ参加しました。

④総合相談（法律相談・交通事故相談・福祉相談）

あらゆる悩みごとの解決の糸口を探すという観点から、他の相談機関とも連携し、住民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、適切な助言や援助で問題の早期解決、福祉の推進を図りました。

なお令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言時には相談を中止しました。その他、職員による福祉相談も随時実施しました。

	令和3年度	平成2年度
法律相談	17日 89件	15日 85件
交通事故相談	6日 6件	11日 11件

⑤広報活動の充実

- ・「社協だより」の発行と内容の充実

年4回発行（5月、8月、11月、3月）、他共同募金関係報告10月

- ・ホームページ、SNSの活用

ホームページ・SNS（フェイスブック）でお知らせや事業報告などを随時掲載しました。

⑥その他

- ・災害ボランティアセンター体制整備

志免町での大規模災害に備えた「災害ボランティアセンター」の実施に伴う体制整備として、糟屋地区内社協合同で「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を令和4年3月12日（金）にサンレイク粕屋で実施しました。

- ・臨時食料品等給付・貸出事業

諸事情により、経済的に困窮し、食事の確保が難しい世帯を対象に、食料給付を行いました。

	令和3年度	平成2年度
給付・貸出世帯	26件	23件

（2）受託事業

①福祉バス事業【役場福祉課より】

志免町内の団体が研修などをされる際に、バスを運行しました。

（有料道路・駐車場は利用者負担。）

今年度も新型コロナウイルス感染症のため、利用減少となっています。

	令和3年度	平成2年度
運行回数	25回	4回
利用者数	373人	46人
1回当たり	18.6人	11.5人

②外出支援サービス【役場福祉課より】

公共交通機関を利用することが困難な高齢者や、障がいのある方に対して、利用者の居宅と病院や福祉施設の間をリフト付車両にて送迎するサービスを行いました。

(※片道30kmの範囲迄。有料道路・駐車場で発生した料金は利用者負担。)

	令和3年度	平成2年度
高齢者	239回	233回
障がい者	80回	70回
合計	319回	303回

③障害者在宅介護支援センター事業【役場福祉課より】

・相談事業

障がいのある方が、自分らしく生活できるよう、ご本人・ご家族からの相談に応じ、情報提供や関係機関との連携など必要な支援を行いました。(相談無料。)

	令和3年度	令和2年度
相談延件数	3,330件	3,611件

・支援区分調査

介護給付の障害福祉サービス（ヘルパーなど）を利用するために必要な「障害支援区分」（1～6区分）の認定調査や概況調査（※）の委託を受け実施しました。

	令和3年度	令和2年度
調査数	122件	101件

※概況調査…訓練等給付の障害福祉サービス（就労移行支援など）を利用するために必要な調査。

・計画相談支援

障がいのある方への障害者総合支援法におけるサービス利用などの支援（サービス等利用計画作成）を行い、関係機関と連携し必要な支援を行いました。

(利用料金：無料)

	令和3年度	平成2年度
サービス利用支援等 (サービス等利用計画作成)	105件	111件
継続サービス利用支援等 (計画の実施状況把握)	288件	329件

④障がい者地域生活支援事業【役場福祉課より】

地域で生活されている身体・知的障がいのある方を対象に社会との交流などが出来て、生きがいを感じてもらえる「居場所」として事業を行っています。

創作的活動などを行い、必要に応じて送迎も行っています。

	令和3年度	令和2年度
実施日数	241日	239日
利用延人数	289人	416人
1日平均利用人数	1.2人	1.7人

⑤生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター業務）【役場福祉課より】

誰もが住みよいまちづくりを目指し、住民同士のつながりや活動を推進する「生活支援コーディネーター」（地域支え合い推進員）業務を行いました。

県などが開催する連絡会などにも参加をしました。

- ・協議体（地域ケア推進会議）への参加

開催日：10月14日（木）

テーマ：見守り活動について

※2月15日（火）は新型コロナウイルス感染症のため中止になりました。

- ・地域での実態調査及び話し合いの場づくり

地域の福祉課題に対して、他分野の活動者や企業などと協働して問題解決を図ることを目的とした「ふくしのまちづくりプロジェクト」を始め、希望された町内会でアンケートを実施し、地域の福祉課題を把握して必要に応じて解決策等を話し合いました。

- ・「ふくしのまちづくりプロジェクト」

新規申請：1町内会、アンケート実施：0町内会、

話し合い：3町内会（3回）、継続支援：3町内会

- ・「地域の支え合い通信」発行（年2回）

協議体で話し合った結果や町内会が行っている取り組み等、生活支援コーディネーターが関わった地域での支え合い活動等を紹介しました。

- ・「志免町の居場所事例集」の作成・更新

志免町で行われている居場所などの情報を掲載した事例集を更新し、令和3年度版を地域福祉活動者や医療・介護専門職などへ配布し、周知しました。

- ・「社会参加・交流の場」の情報収集及び一覧更新

主に公民館で行われているサークル活動や自主的な活動の情報を集め、一覧の令和3年度版を更新・情報提供しました。

- ・「つながり通信」の発行

医療・介護事業所やボランティアに協力いただき、自宅のできる体操や脳トレを掲載した通信を2か月に1回発行しました。

新しい生活様式にあわせた活動として、介護予防や見守り活動に活用いただけるよう町内会に提案しました。(19町内会 延7,587名)

- ・「ユニーク川柳」の募集

コロナ禍で暗い気持ちになりがちな世相を吹き飛ばそうと川柳を募集したところ、全122作品の応募をいただきました。

選考の結果、大賞1作、優秀賞4作、入賞7作が決定しました。

受賞作品は、「社協だより」第203号、「つながり通信」第9号に掲載のほか、シーメイトにも掲示しました。

⑥子育て支援事業【役場子育て支援課より】

母子・寡婦・父子家庭・産前産後の方を対象に、ご自宅に伺い、家事援助を行いました。

	令和3年度	平成2年度
活動延時間数	40時間	6時間

⑦生活福祉資金貸付事業【福岡県社会福祉協議会より】

低所得者、高齢者、障がいのある方等に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、在宅福祉および社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的として、民生児童委員と社会福祉協議会が協力して運営している貸付事業です。

令和2年度から新型コロナウイルス感染症のため、収入が減少した方や失業された方を対象に生計維持を目的とした「特例貸付」が開始され、今年度も継続されたことから、件数の増加が続いています。

(特例貸付は令和4年8月迄継続予定となります。)

	令和3年度 (特例貸付のみ)	令和2年度 (特例貸付のみ)
相談件数	1,342件 (1,245件)	1,989件 (1,905件)
申請件数	724件 (689件)	1,055件 (1,021件)
決定件数	691件 (654件)	1,008件 (976件)

⑧日常生活自立支援事業【福岡県社会福祉協議会より】

認知症、知的障がい、精神障がいのある方などで、判断能力が不十分なため日常生活でお困りの方を対象に、福祉サービスの利用や日常的金銭管理などのお手伝いをしました。

	令和3年度	令和2年度
契約件数	11件	9件
新規契約	3件	3件
解約	2件	3件
支援回数	175回	90回

⑨共同募金事業 募金事務代行【福岡県共同募金会より】

福岡県共同募金会志免町支会としての事務業務を実施しました。

2. 自主財源の確保

(1) 自主事業の経営と拡充

①指定居宅介護支援事業

介護支援専門員（ケアマネジャー）による「介護保険」についての相談や申請代行、ケアプラン作成および各種サービス事業者との調整や連絡などを行いました。（利用は無料）ケアマネジャー3人体制で取り組んでいます。

	令和3年度	平成2年度
ケアプラン作成	1,289件	1,312件

②指定訪問介護（ホームヘルプサービス）・介護予防訪問介護事業

利用者のお宅にホームヘルパーが伺って、生活援助（掃除・調理・洗濯・買物など）や身体介護（入浴・排泄・食事の介助など）を行いました。

（利用料：介護保険のサービス単価に準ずる。）

	令和3年度	平成2年度
実施延人数	629人	619人

③指定通所介護（デイサービス）・介護予防通所介護事業

利用者宅に送迎を行い、デイサービスセンターにて食事や入浴、レクリエーションなど各種サービスを提供しました。また、ひきこもりがちな高齢者の社会参加や心身機能維持・向上を図るとともに、ご家族の身体的、精神的負担の軽減を図ります。（利用料：介護保険の負担割合に準ずる。食事代は実費負担。）

	令和3年度	平成2年度
実施日数	293日	279日
利用延人数	5,739人	6,235人
1日平均利用人数	19.5人	22.2人

④障害者（児）ホームヘルプサービス（居宅介護、同行援護、移動支援）

障害福祉サービスの受給者証を発行されている方のお宅に訪問介護員がお伺いし、身体的サービスや家事サービスを行います。

	令和3年度	平成2年度
活動延人数	198人	176人

⑤訪問支援サービス事業（独自事業）

介護保険・障害者総合支援法などを利用されている方が、制度外のサービスや制度を利用できない方に対して、在宅で自立した生活が出来るよう、適正なサービスを提供する事業です。

（利用料：生活支援30分1,000円～、身体介護30分1,500円～）

	令和3年度	平成2年度
契約者数	14人	6人
収 益	59,200円	49,900円

(2) 共同募金運動の強化

募金への協力をお願いした結果、次の実績をおさめました。

新型コロナウイルス感染症のため、街頭募金は中止、法人募金も四者の皆様と同行してのお願いが出来ないなどもあり、目標額を下回る結果となりました。

	令和3年度	令和2年度
目 標 額	8,737,838円	9,705,093円
実 績 額 (内訳)	8,710,221円	8,737,838円
戸 別 募 金	7,288,500円	7,418,215円
法 人 募 金	1,047,296円	874,800円
有 志 募 金	56,000円	137,700円
街 頭 募 金	—	—
学 校 募 金	81,102円	75,901円
箱 設 置 募 金	113,665円	120,835円
バッジ、図書・クオカード等	88,312円	77,778円
赤い羽根自動販売機募金	17,136円	16,919円
寄付付き商品	18,210円	15,690円

※寄付付き商品は、「Nino cafe」様の「赤い羽根ランチセット」の1セットを売り上げる度に30円を共同募金に寄付して頂いています。

(3) 賛助会員の加入促進（口数）

社会福祉協議会の事業の充実を図り、「志免町に住んでよかった」という“ふくしのまちづくり”をめざすため、賛助会への加入を広く呼びかけています。

（賛助会費：1口1,000円、特別賛助会費：1口10,000円）

	令和3年度	令和2年度
口数	5,058口	5,170口
金額	5,058,500円	5,170,000円

(4) 町民、団体等からの支援（一般寄付・香典返し）

有志の方からのご厚意による、善意のご寄付や親族の方がお亡くなりになられた際のご香典の一部を事業運営に使わせていただいています。

	令和3年度	令和2年度
寄附金	21件 400,725円	22件 500,920円
香典返し	3件 120,000円	7件 235,000円
物品	0件	4件 バスタオル等

(5) 災害義援金の受付

当会で災害義援金の受付を行っており、令和3年度に受け付けた金額は以下のとおりになります。お預かりした義援金は、被災した県の共同募金会を通じて、被災された方々に届けられます。皆様のご協力、有難うございました。

- ・令和3年2月福島県沖地震 2,016円
- ・令和3年7月静岡県大雨災害 2,000円
- ・令和3年7月島根県大雨災害 550円
- ・令和3年8月福岡県豪雨災害 2,750円

(6) その他

①「栄光会ファミリークリニック」様からの寄付

「栄光会ファミリークリニック」売店きらり横の休憩スペースに「志免町社会福祉協議会支援自販機」を設置していただきました。

この自販機で商品を購入すると、売り上げの一部が当会に寄付される仕組みになっています。

	令和3年度	令和2年度
金額	12,736円	1,224円

②「Q Tnet」(キューティネット)様からの寄付

「Q Tnet」様から、毎年自動販売機の売り上げの一部を寄付していただいております。

	令和3年度	令和2年度
金額	46,373円	54,476円

3. 介護保険事業、障害者総合支援事業の拡大と推進

(1) 自主事業の安定経営と財源確保

- ・制度改革にも対応できるサービス構造への転換
訪問介護事業で事務作業の簡略化を進めるため、タブレットを使った入力システム導入し取り入れています。
- ・従事者の研修、勉強会の参加と資質の向上
職場内では各部署で人権研修を実施し、必要に応じて外部研修 (Zoom を含む) に参加しました。
- ・事業所間の連携によりサービスの向上
介護保険事業所間で定期的な情報交換を行うなどの連携を行い、サービスの向上に努めました。

4. 社協の組織体制強化

(1) 理事会・評議員会および専門部会の開催

- ・理事会・評議員会の開催
理事会 4 回 (内 1 回は書面決議)、評議員会 3 回 (内 1 回は書面決議)
- ・専門部会の開催
総務部会 0 回、財政部会 0 回、広報部会 4 回、
福祉部会 0 回 (2 月にコロナ感染拡大のため、会議を中止し資料送付し意見を求める)

(2) 役職員の研修会参加と勉強会実施、職員の資質向上

- ・役員：例年、四者合同研修会 (地域福祉活動)・四者合同会議 (赤い羽根共同募金運動について) にて研修を実施していましたが、新型コロナウイルス感染症のため、今年度は四者合同会議を中止し、令和 2 年度からの新任者に向けて会議資料を送付しています。
- ・職員：各部署でオンラインでの人権研修を実施し、必要に応じて外部研修に参加し Zoom によるオンライン研修も実施しています。